

ヒロセ電機 2025年3月期 第2四半期 決算説明会

# 2025年3月期 第2四半期 決算説明会

2024年11月6日

ヒロセ電機株式会社

[6806]

## 注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

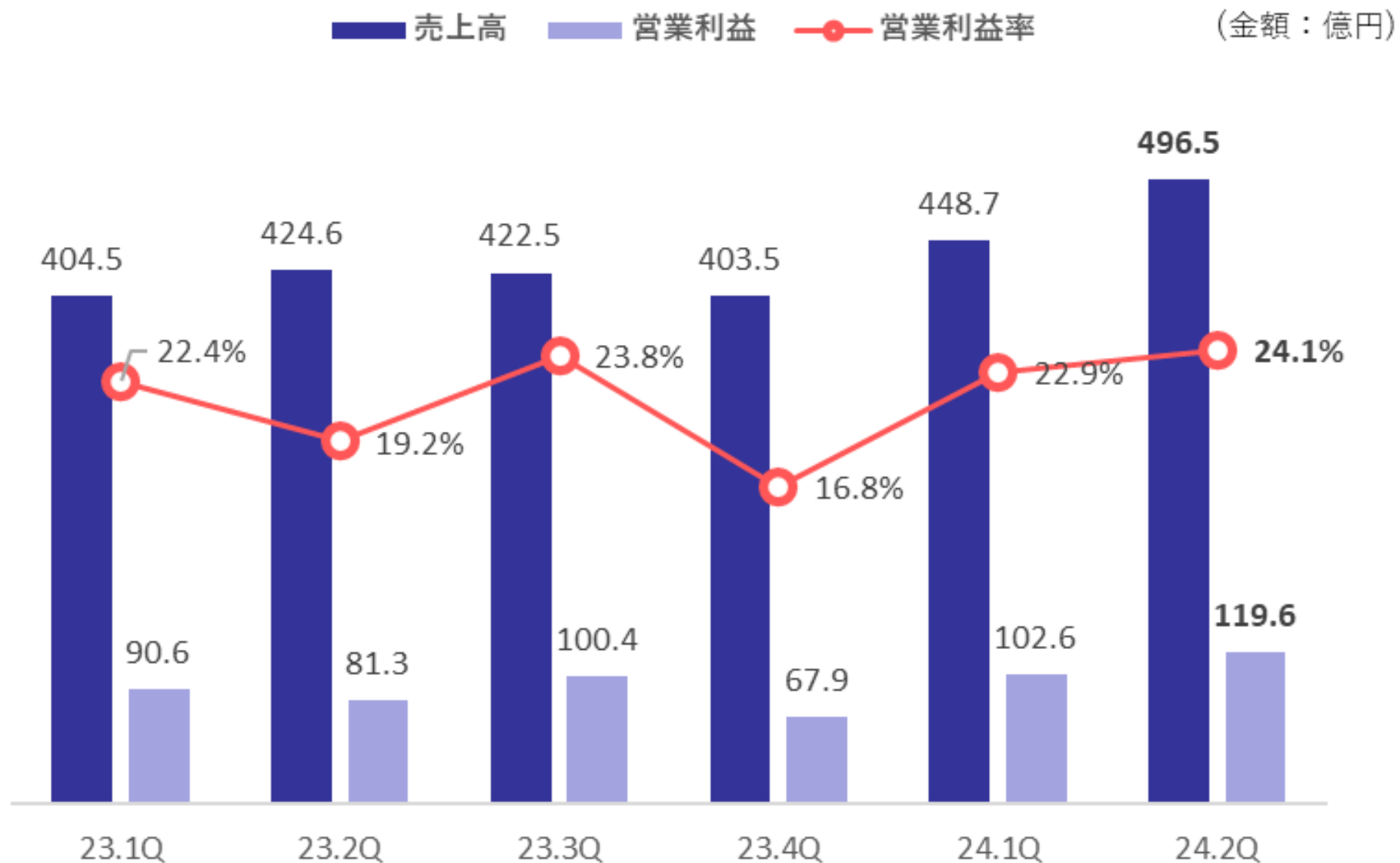
## 業績サマリー（2024年度 第2四半期累計 2024年4月～9月）

一般産機市場向けの復調は遅れているものの、スマートフォン市場向け、コンシューマ・モバイル機器向けが引き続き伸長、また自動車・モビリティ関連向けは堅調に推移したことから、前年同期比 +14%の売上、営業利益は+29.2%。営業利益率は23.5%となりました。受注は前年同期比+29.4%、前四半期比+1.3%となりました。

(金額：億円)

	2023年度			2024年度			前年同期比
	1Q (23.4-6)	2Q (23.7-9)	累計 (23.4-9)	1Q (24.4-6)	2Q (24.7-9)	累計 (24.4-9)	2024.2Q累計 / 2023.2Q累計
受注	368.6	385.8	<b>754.4</b>	484.8	491.1	<b>975.9</b>	+29.4%
売上	404.5	424.6	<b>829.1</b>	448.7	496.5	<b>945.2</b>	+14.0%
営業利益	90.6	81.3	<b>171.9</b>	102.6	119.6	<b>222.2</b>	+29.2%
営業利益率	22.4%	19.2%	<b>20.7%</b>	22.9%	24.1%	<b>23.5%</b>	+2.8pt

## 売上・営業利益推移 (2023年度1Q~2024年度2Q / ヒロセ連結ベース)



## 2024年度 第2四半期 連結決算概要

(金額：億円)

	2023年度2Q (2023/9月期)	2024年度2Q (2024/9月期)	増減額 (対前年同期比)	増減比 (対前年同期比)	
<b>売上高</b>	<b>829.1</b>	<b>945.2</b>	<b>+116.1</b>	<b>+14.0%</b>	
売上原価率	55.6%	54.7%	-0.9		
販売・管理費比率	23.1%	21.7%	-1.4		
<b>営業利益</b>	<b>171.9</b>	<b>222.2</b>	<b>+50.3</b>	<b>+29.2%</b>	
営業利益率	20.7%	23.5%	+2.8		
<b>税引前利益</b>	<b>196.8</b>	<b>238.5</b>	<b>+41.7</b>	<b>+21.2%</b>	
税引前利益率	23.7%	25.2%	+1.5		
<b>当期利益</b>	<b>126.0</b>	<b>175.3</b>	<b>+49.3</b>	<b>+39.2%</b>	
当期利益率	15.2%	18.5%	+3.3		
総資産残高	<b>4,115.0</b>	<b>4,147.2</b>			
自己資本比率	<b>88.9%</b>	<b>89.2%</b>			
1株当たり 当期利益	<b>365.87円</b>	<b>518.17円</b>			
			2023年度 2Q	2024年度 2Q	
			1US\$	141.00円	<b>152.63円</b>
			1€	153.39円	<b>165.95円</b>
			100ウォン	10.74円	<b>11.21円</b>

## 2024年度 第2四半期 対前年同期主要増減

## 売上高

**116.1 億円 増加** (829.1億円 → 945.2億円)

スマートフォン・携帯端末 : +63億円  
コンシューマ・モバイル機器向け : +56億円  
自動車・モビリティ : +51億円

## 売上原価率

**0.9 pt 良化** (55.6% → 54.7%)

減価償却費率 : 8.1% → 7.7%  
労務費率 : 7.6% → 7.5%

## 販売・管理費比率

**1.4 pt 良化** (23.1% → 21.7%)

191.7億円 → 205.6億円 (+13.9億円)

## 金融収益・費用

**8.6億円 減少** (+24.9億円 → +16.3億円)

為替差損益 : +8.8億円 → -5.9億円  
受取利息等 : +12.4億円 → +16.4億円

## 2024年度 第2四半期 対前年同期 変動分析

(金額：億円)

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
<b>2023年度2Q 実績</b>	<b>829.1</b>	<b>171.9</b>	<b>20.7%</b>	<b>196.8</b>	<b>23.7%</b>
為替影響	45.2	24.6		10.6	
人件費増		-10.2		-10.2	
減価償却費増		-6.2		-6.2	
物量増他	70.9	42.1		47.5	
<b>変動額計</b>	<b>116.1</b>	<b>50.3</b>		<b>41.7</b>	
<b>2024年度2Q 実績</b>	<b>945.2</b>	<b>222.2</b>	<b>23.5%</b>	<b>238.5</b>	<b>25.2%</b>

## 連結貸借対照表（1）

(金額：億円)

	科目	2024/3末	2024/9末	増減額	備考
資 産	現金及び 現金同等物	903.4	856.7	-46.7	当期税前利益 +238、消費税還付 +41 郡山新工場 △36、その他設備投資△118 配当支払 △74
	営業債権及び その他の債権	394.2	443.6	+49.4	売上増による
	棚卸資産	243.6	236.3	-7.3	
	その他金融資産	1,422.0	1,490.1	+68.1	定期預金 + 5、有価証券取得 + 61
	有形固定資産	809.5	860.6	+51.1	郡山新工場 + 33、ヒロセコリア増設+20
	使用权資産	56.3	53.7	-2.6	
	その他	205.5	206.2	+0.7	
	合計	4,034.5	4,147.2	+112.7	
	現預金合計	1,726.3	1,684.9	-41.4	

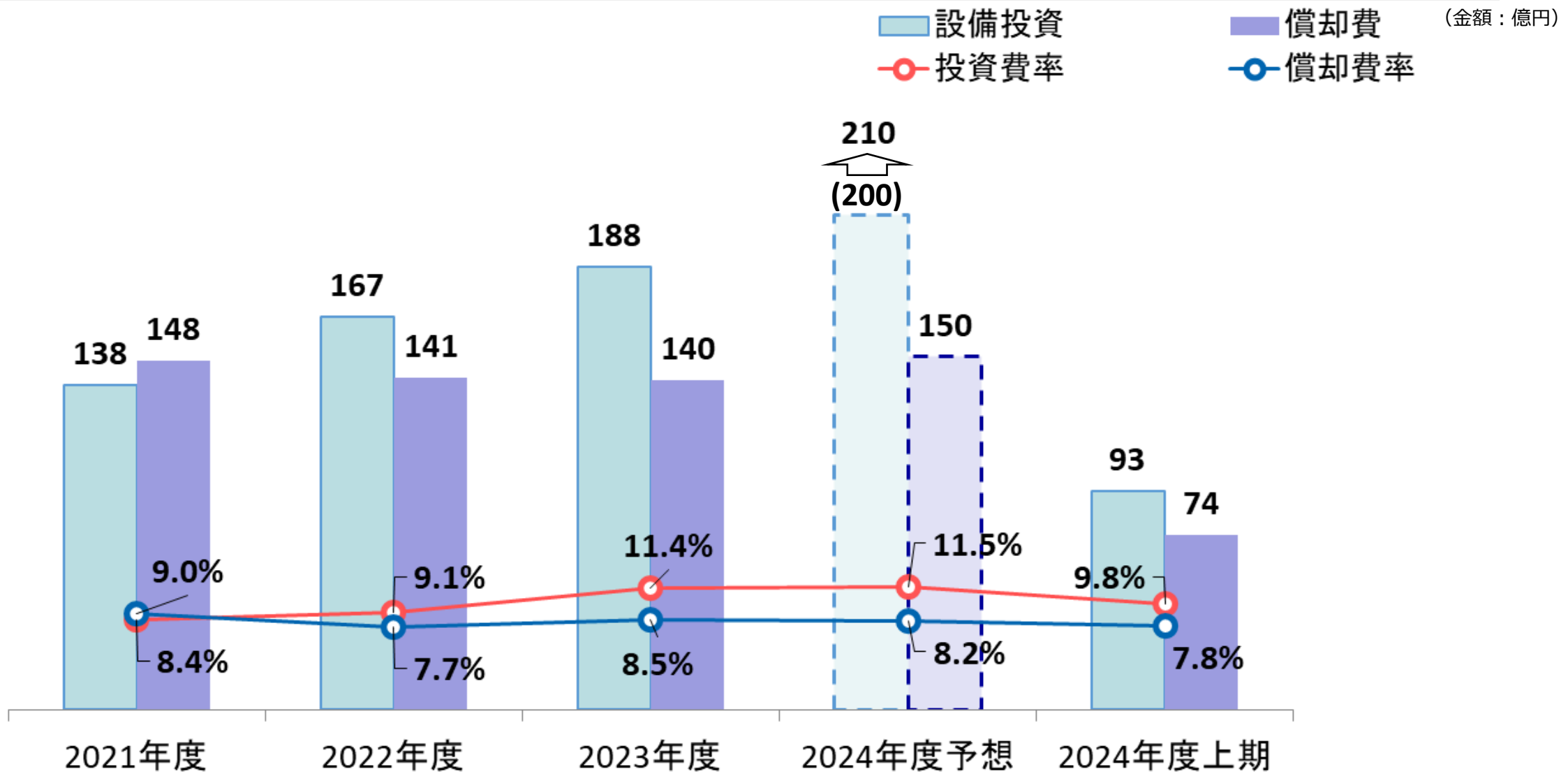


## 連結貸借対照表（2）

（金額：億円）

	科目	2024/3末	2024/9末	増減額	備考
負債	支払債務及び その他の債務	117.3	116.7	-0.6	
	リース負債	59.3	56.5	-2.8	
	未払法人税	25.0	56.0	+31.0	
	その他	191.2	216.8	+25.6	賞与引当金、繰延税金負債
	<b>合計</b>	<b>392.8</b>	<b>446.0</b>	<b>+53.2</b>	
純資産	資本金及び 資本剰余金	205.9	205.6	-0.3	
	利益剰余金	3,408.1	3,427.5	+19.4	当期純利益 +175 配当金支払 △74 自己株式消却 △82
	自己株式	-358.1	-274.6	+83.5	自己株式消却 +83
	その他	385.8	342.7	-43.1	為替換算調整 △45
	<b>合計</b>	<b>3,641.7</b>	<b>3,701.2</b>	<b>+59.5</b>	
	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>4,034.5</b>	<b>4,147.2</b>	<b>+112.7</b>	

# 設備投資・償却費 推移(連結ベース)

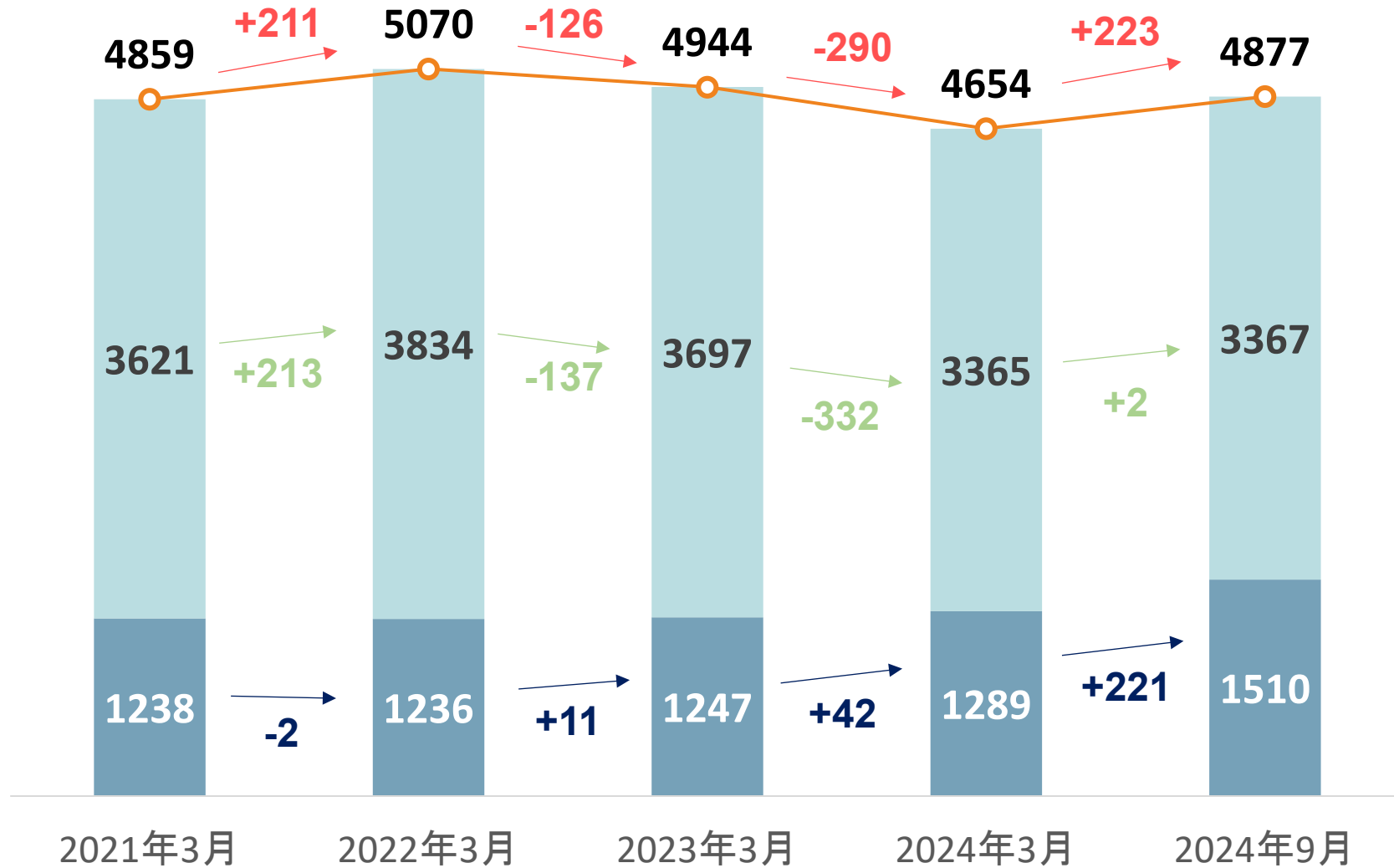


(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

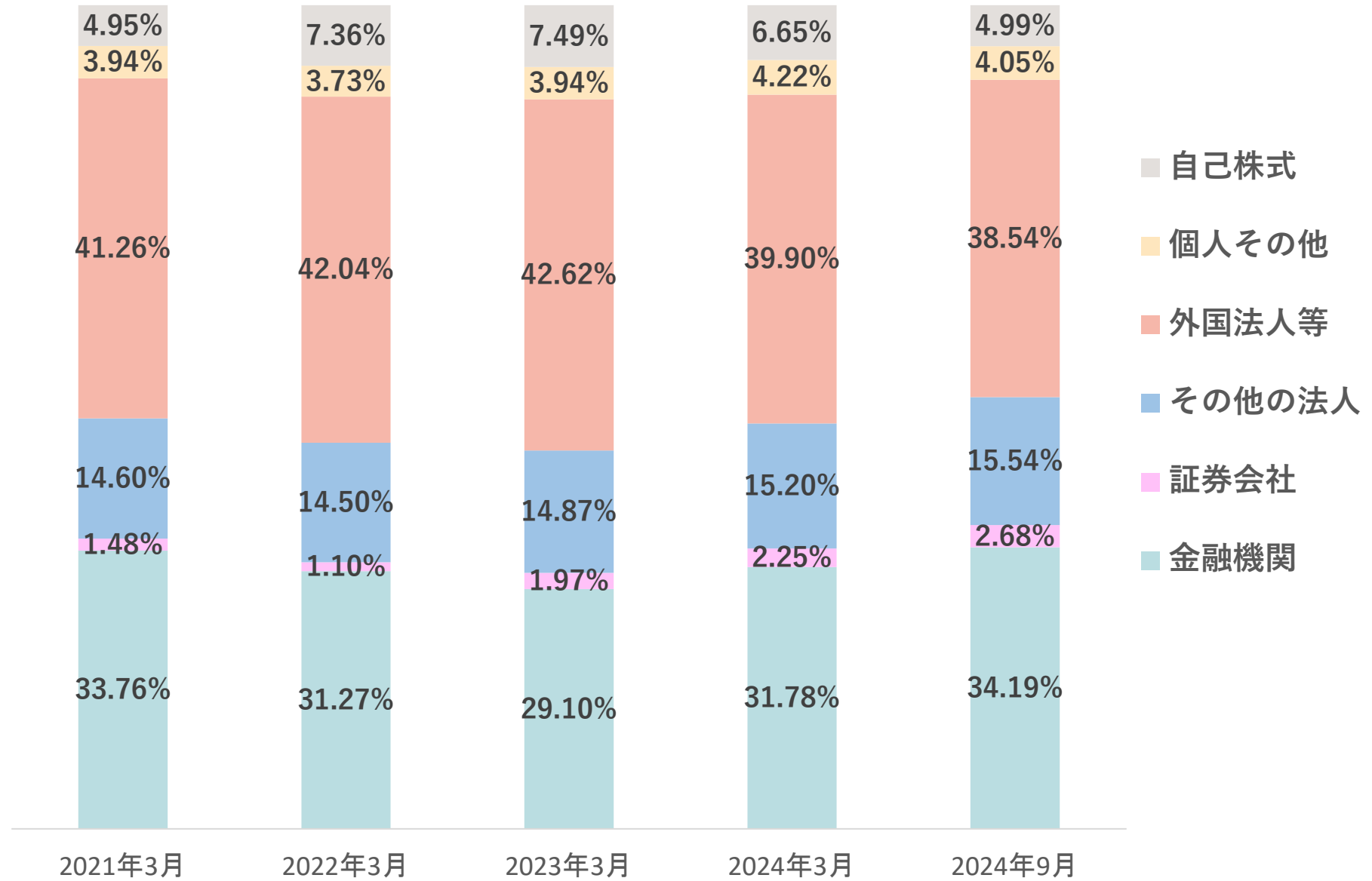
# 従業員数 推移 (有報ベース)

(単位：人)

■ 国内 ■ 海外



# 株式分布推移

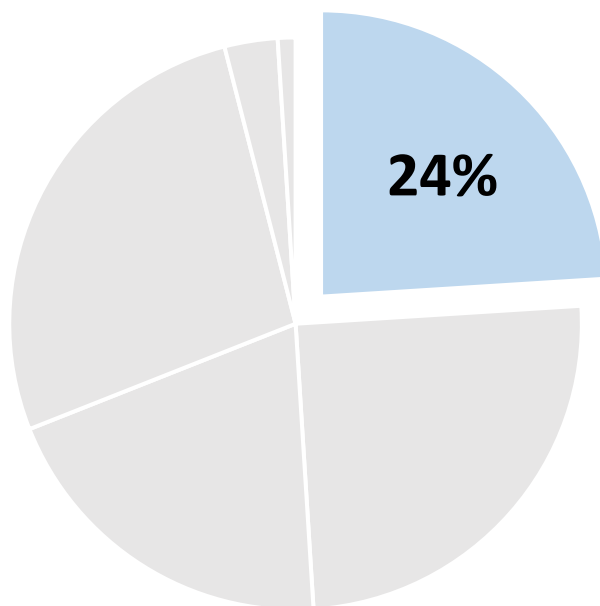


# 分野別売上 一般産機

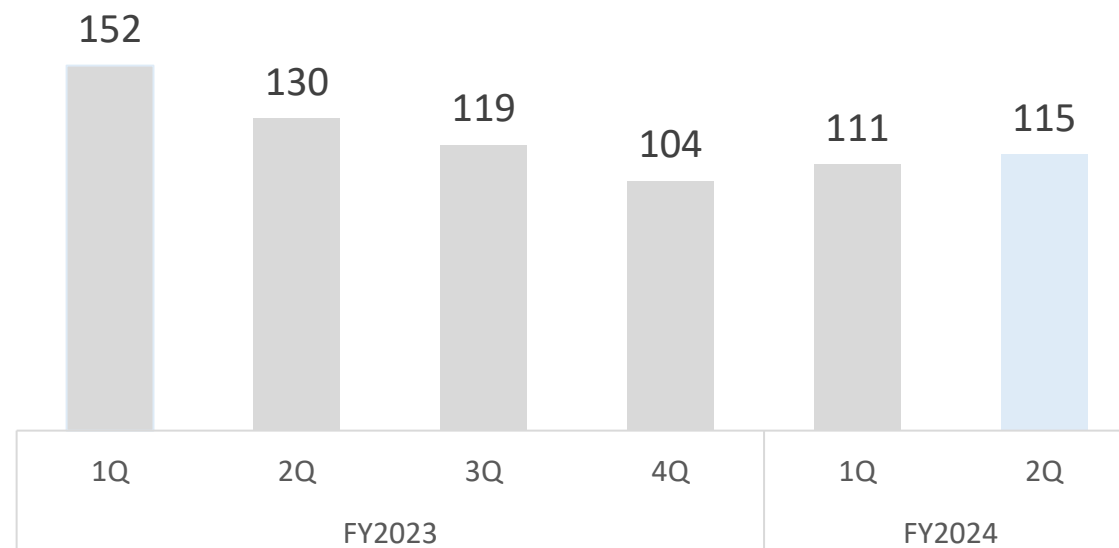
(金額：億円)

	2023年度			2024年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2023.2Q累計 / 2024.2Q累計
売上高	152	130	282	111	<b>115</b>	<b>226</b>	<b>-20%</b>

## ● 2024年度 2Q累計 構成比



## ● 四半期別売上推移



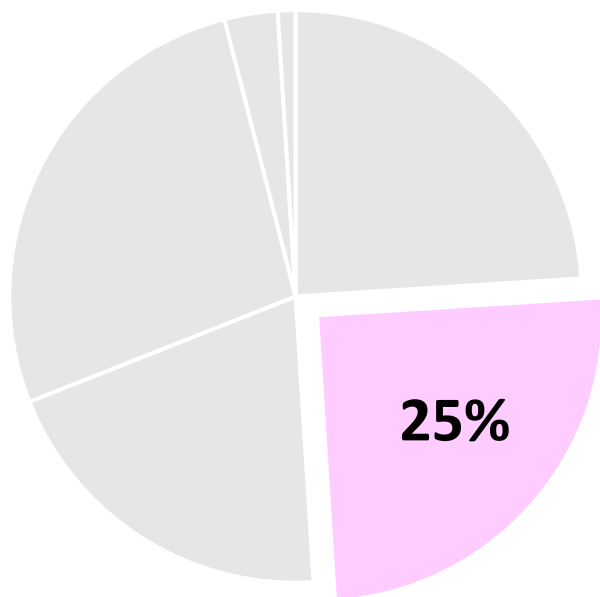
■ 市況が低迷したまま売上はほぼ横ばいに推移しており、1Q対比微増に留まる。

## 分野別売上 スマートフォン・携帯端末

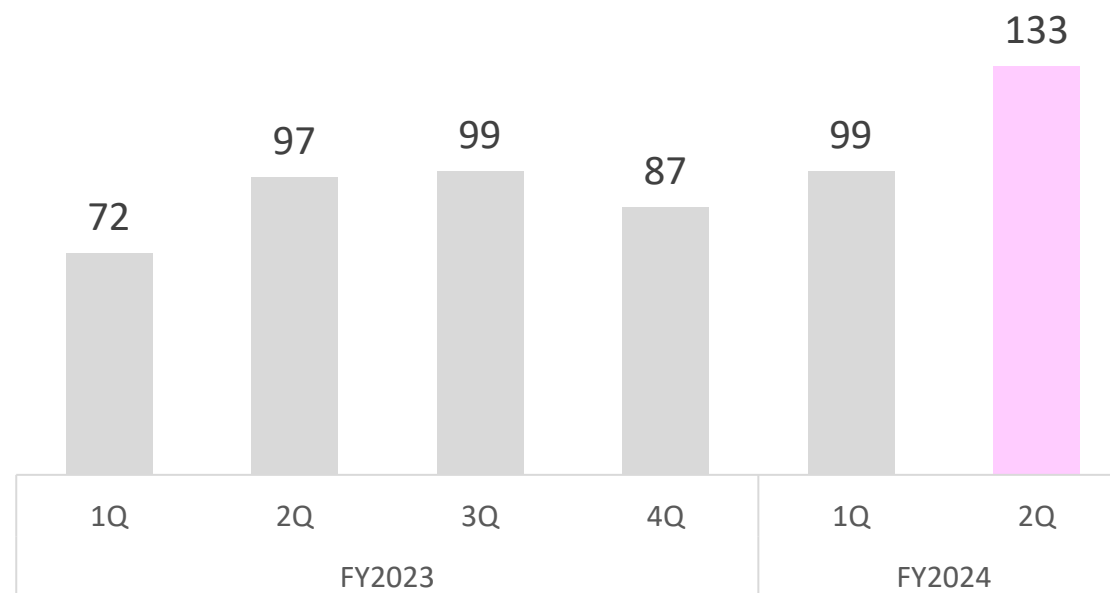
(金額：億円)

	2023年度			2024年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2023.2Q累計 /2024.2Q累計
売上高	72	97	169	99	<b>133</b>	<b>232</b>	<b>+37%</b>

### ● 2024年度 2Q累計 構成比



### ● 四半期別売上推移



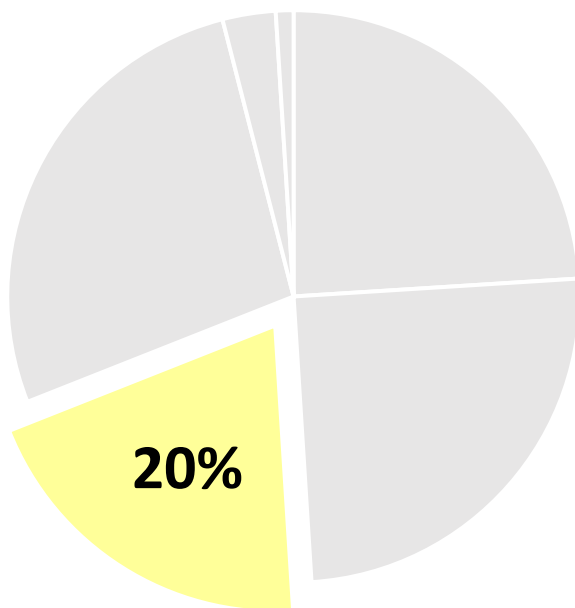
■ 生産体制強化にて1Qに続き、2Qとしても例年より強い売上となった。

# 分野別売上 コンシューマ・モバイル機器

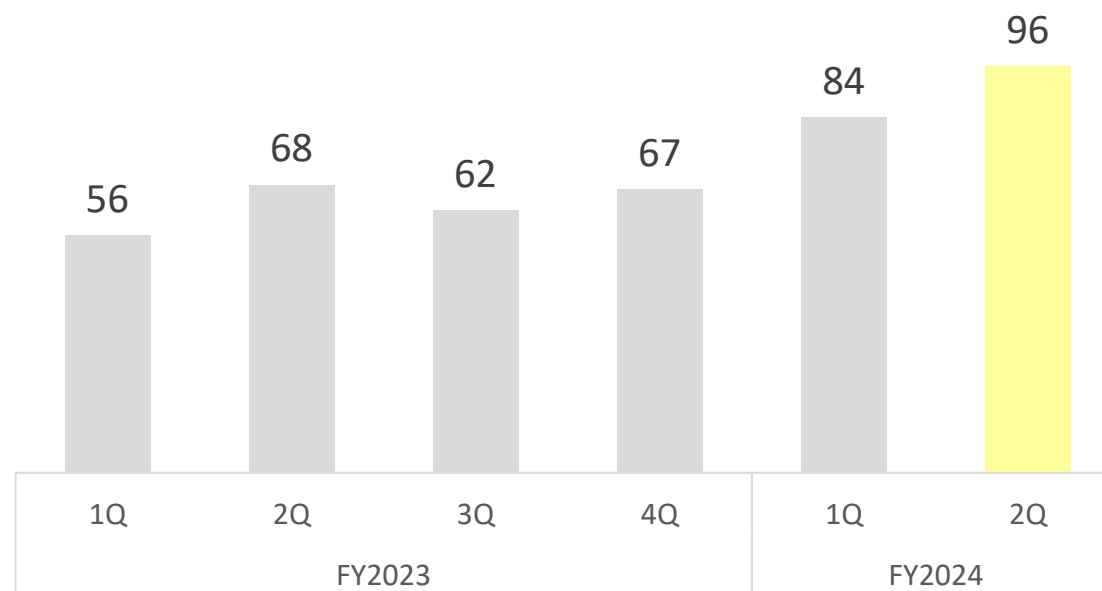
(金額：億円)

	2023年度			2024年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2023.2Q累計 / 2024.2Q累計
売上高	56	68	124	84	<b>96</b>	<b>180</b>	+45%

## ● 2024年度 2Q累計 構成比



## ● 四半期別売上推移



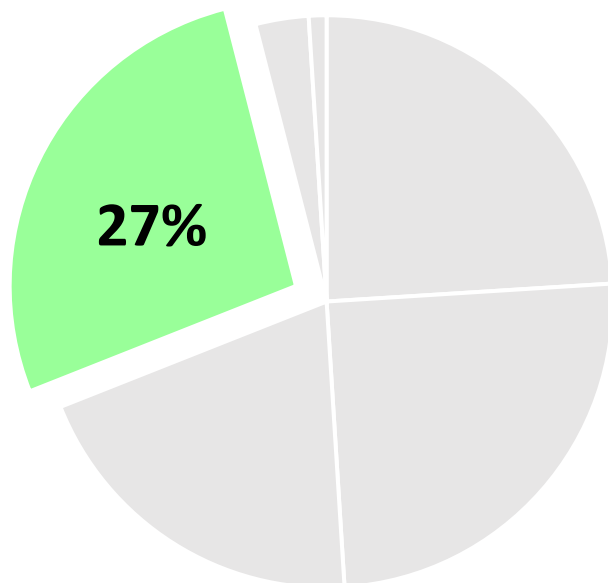
■ 好調なスタートを切った1Qから、季節性により引き続き高い結果となった。

## 分野別売上 自動車・モビリティ関連

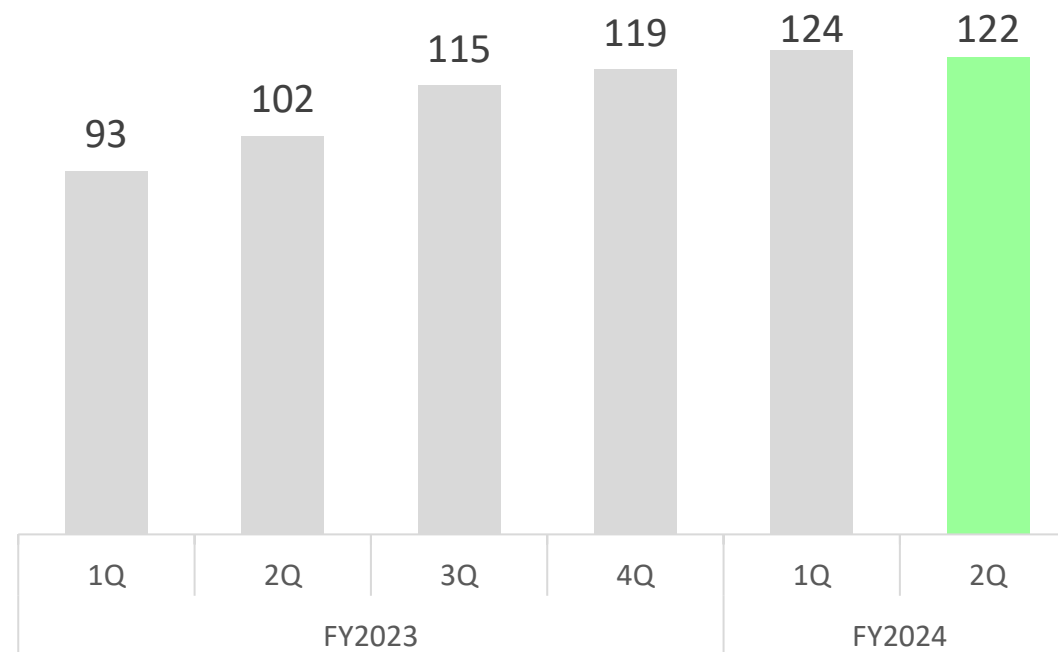
(金額：億円)

	2023年度			2024年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2023.2Q累計 / 2024.2Q累計
売上高	93	102	195	124	<b>122</b>	<b>246</b>	+26%

### ● 2024年度 2Q累計 構成比



### ● 四半期別売上推移



■ 市況全体は芳しくないものの、当社売上は堅調な推移を示している。

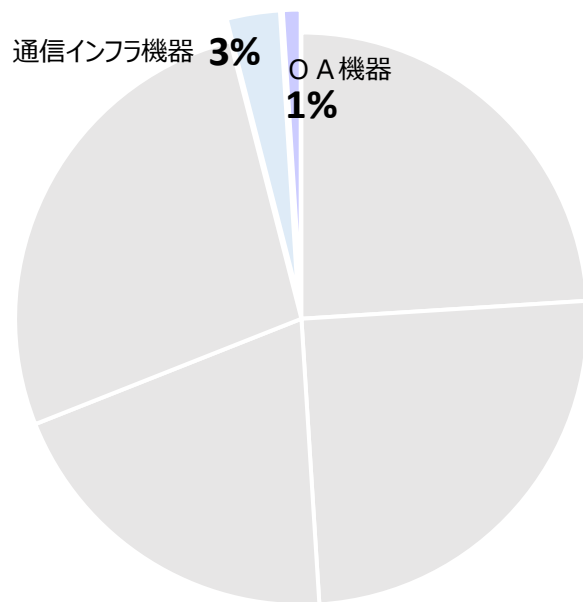


## 分野別売上 通信インフラ機器 / OA機器

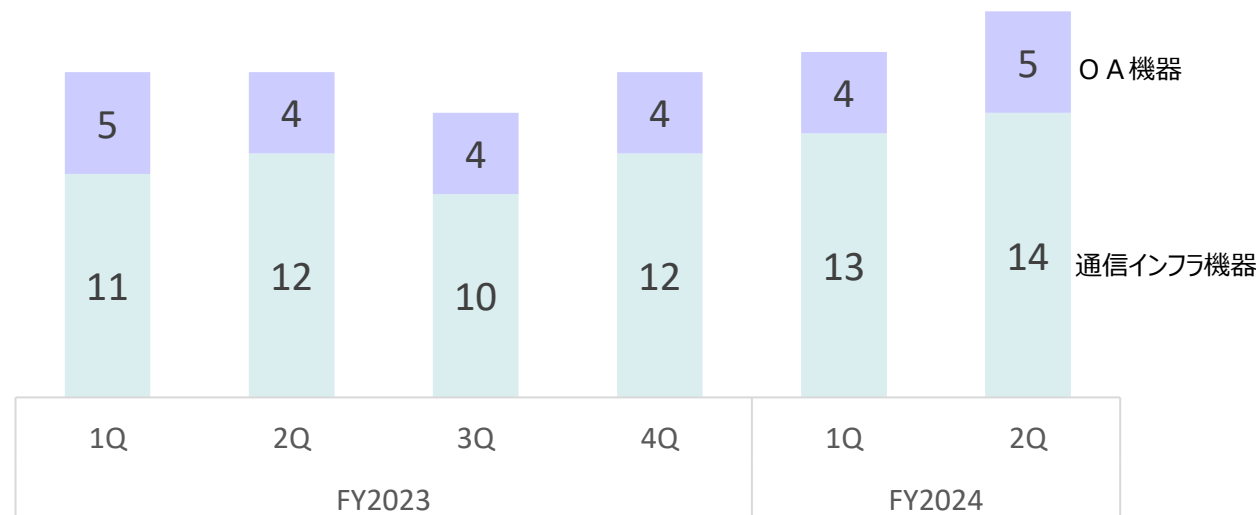
(金額：億円)

	2023年度			2024年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2023.2Q累計 / 2024.2Q累計
通信インフラ機器	11	12	23	13	<b>14</b>	<b>27</b>	+17%
OA機器 (事務機)	5	4	9	4	<b>5</b>	<b>9</b>	±0%

### ● 2024年度 2Q累計 構成比



### ● 四半期別売上推移



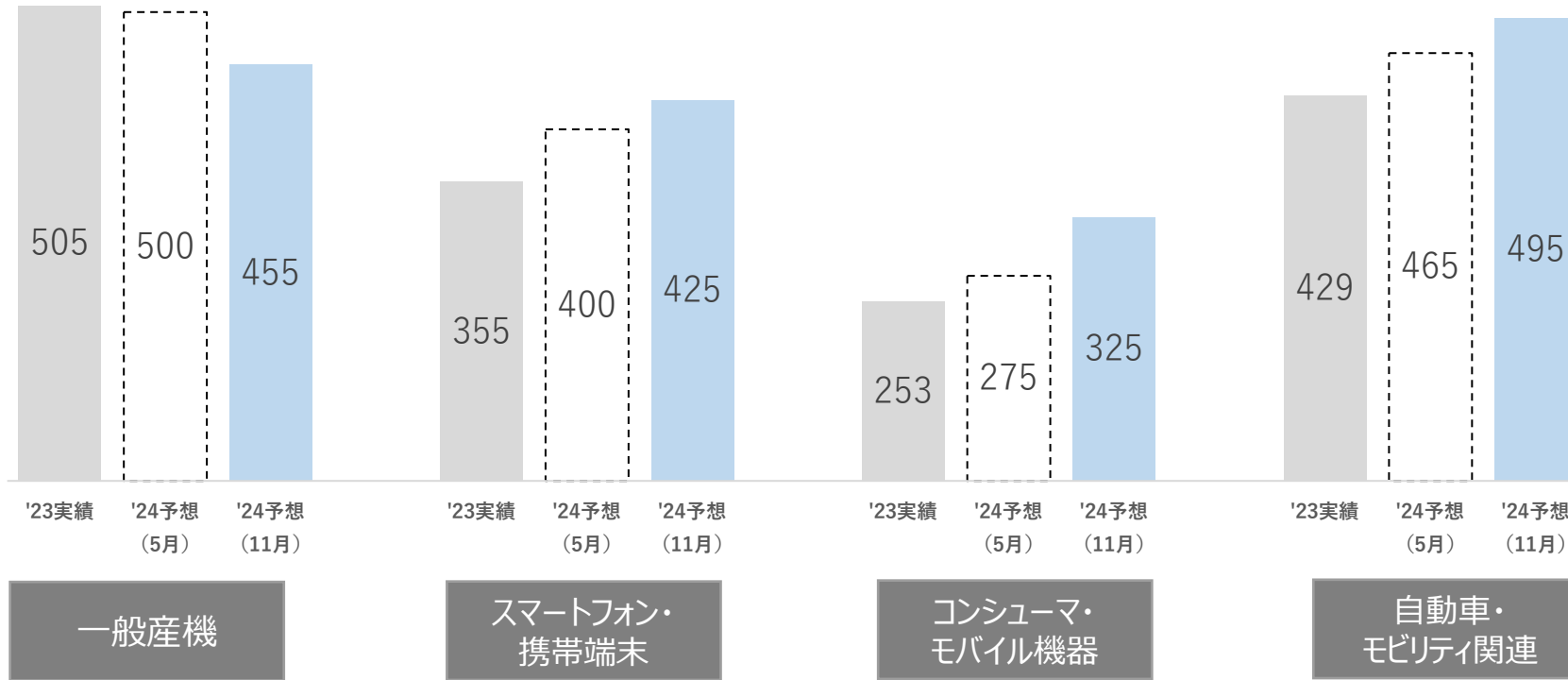
## 2024年度 業績予想（連結）

為替動向とスマホ・コンシューマ、自動車向けビジネスが当初予想を上回る見込みのため2024.5の公表値を修正致します。

	2023年度 (2024/3月期) 実績		2024年度 (2025/3月期)			第2四半期累計 対前年実績		通期予想 対前年実績	
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計 実績	2024.5 公表値	今回修正 公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	829.1	1,655.1	<b>945.2</b>	1,760.0	<b>1,820.0</b>	+116.1	+14.0%	+164.9	+10.0%
売上原価率	55.6%	56.2%	<b>54.7%</b>	56.1%	<b>56.3%</b>				
<b>営業利益</b>	171.9	340.2	<b>222.2</b>	360.0	<b>380.0</b>	+50.3	+29.2%	+39.8	+11.7%
(%)	20.7%	20.6%	<b>23.5%</b>	20.5%	<b>20.9%</b>				
<b>税前利益</b>	196.8	387.6	<b>238.5</b>	390.0	<b>410.0</b>	+41.7	+21.2%	+22.4	+5.8%
(%)	23.7%	23.4%	<b>25.2%</b>	22.2%	<b>22.5%</b>				
<b>当期利益</b>	126.0	264.8	<b>175.3</b>	280.0	<b>300.0</b>	+49.3	+39.2%	+35.2	+13.3%
(%)	15.2%	16.0%	<b>18.5%</b>	15.9%	<b>16.5%</b>				
一株当たり 当期利益	—	772.38円	—	827.65円	<b>886.68円</b>	【為替レート】			
一株当たり配当	220円	440円	245円	490円	<b>490円</b>				
連結配当性向	—	57.0%	—	59.2%	<b>55.3%</b>				
							2023年度 実績	2024年度 予想 (前回)	2024年度 予想 (今回)
						1US\$	144.62円	143.00円	147.00円
						1€	156.80円	155.00円	162.00円
						100ウォン	10.97円	10.80円	11.00円

# 分野別 年間売上予想 修正 (概数)

(金額/億円)



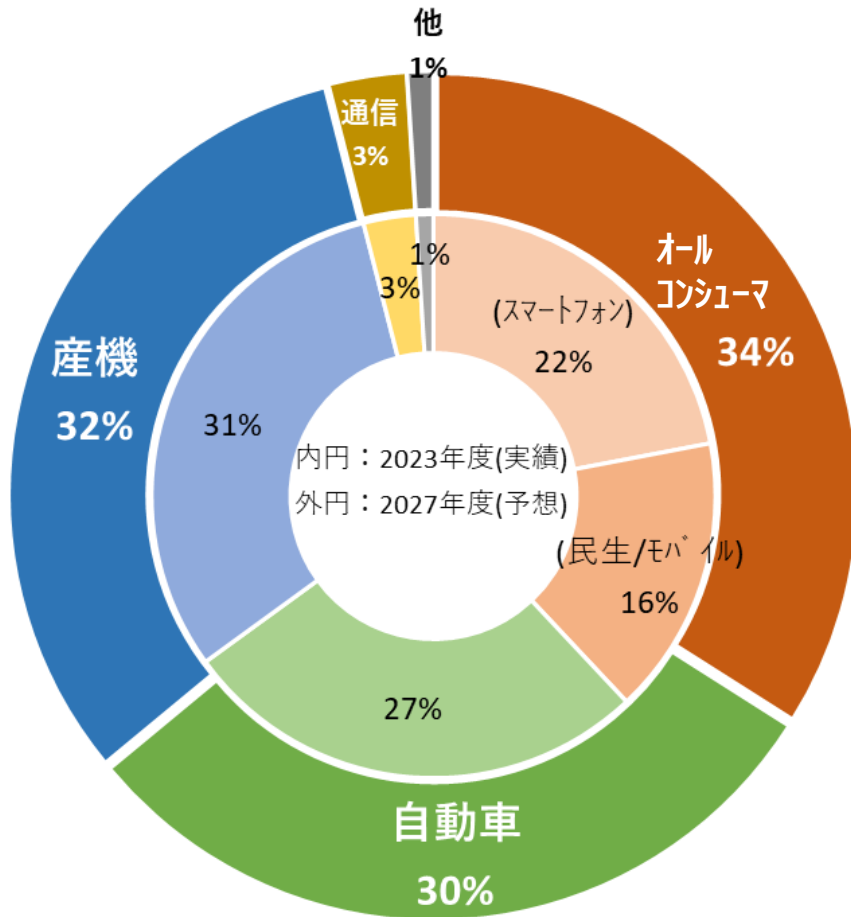
2024年度 前年度比率予想	2024年5月予想	2024年11月予想
● 一般産機	-1%	-10%
● スマホ・携帯端末	+13%	+20%
● コンシューマ・モバイル機器	+9%	+28%
● 自動車・モビリティ関連	+8%	+15%

## サプライチェーンの混乱期(2020-2023年度)を脱し、新たな成長局面へ移行

**2027年度 数値目標**

**売上高：2,300億円 営業利益率：25%以上**

2024年5月8日に発表



➤ 質の伴った成長により、業界平均以上の伸びとシェアupを目指す

➤ 2027年度に3本柱によるバランスのよいポートフォリオを確立

- ✓ コンシューマ：良い商品と強い顧客基盤を軸に、継続安定成長へ
- ✓ 自動車：変化・対応力を活かし、成長の支柱へ
- ✓ 産業機器：分野横断の知と経験を活かし、Global市場で飛躍

➤ **3本柱 + Newの成長ドライバーを探索**

**2024年9月5日 光デバイスメーカーとの資本業務提携を発表**

## Newの成長ドライバーを探索

アイオーコア株式会社と資本業務提携を締結し、**高機能光アクティブコネクタを共同で開発**することに合意しました。アイオーコア社のシリコンフォトニクスチップを活用したモジュールおよびコネクタ化製品の共同開発により、医療、通信、自動車市場等、**様々な分野において高まる光伝送化のニーズ**に応えていきます。

### 電気と電気をつなぐコネクタ



### 電気と光をつなぐコネクタ



高速化、ノイズ対策、低消費電力化、軽量化 etc.

### 光と光をつなぐコネクタ



### ニーズ例(一部)



医療分野



自動車分野



通信分野

## 成長・発展のための人財戦略： 多様性実現に向けて

女性管理職比率の目標を設定しました。

### 女性活躍推進

#### HRSの方針

- 1 “多様な従業員が活躍する会社”を目指す。
- 2 実力ある女性人財を計画的・意識的に確保・育成する。
- 3 優秀かつ多様な人財が働き続けられる柔軟な制度・仕組みづくりを推進する。

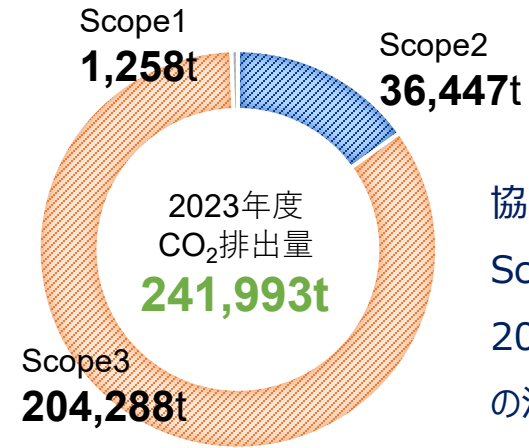
◆ 2034年度 女性管理職比率 **15%** (2024年度比 約8.8倍)

◆ 女性採用比率 **30%以上/毎年**

◆ 2034年度 女性社員比率 **30%** (2024年度比 約1.5倍)

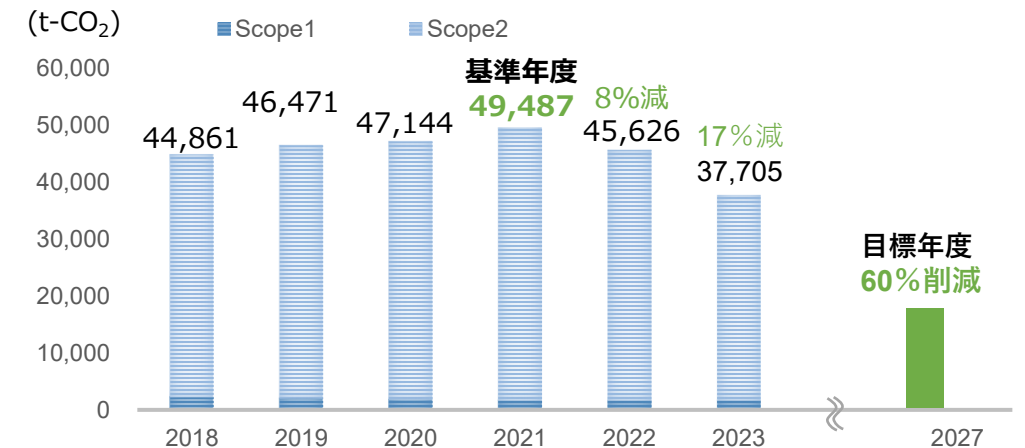
10月29日発行  
和文統合報告書リンク (英語版は25年1月末予定)  
<https://www.hirose.com/corporate/ja/ir/integrated-report/>

## 気候変動対応： Scope3の測定



協力会社生産の比率が高い当社は Scope3の取り組みが重要であり、2023年度に**Scope3排出量算出**の活動を行いました。

### CO<sub>2</sub>排出量の推移



# ヒロセ技術展 CONNECTION2025

## 3年に1回の技術展を2025年度に開催予定

2025年9月：横浜会場 (パシフィコ横浜ノース) 2日間

2025年11月：大阪会場 (グランキューブ大阪) 2日間



22年度 キービジュアル



22年度開催実績

## ヒロセ技術展の特徴

### ● 未来志向の技術展

展示物の殆どが新製品や開発中、コンセプト品。

### ● 豊富な採用事例(実機)展示

民生、産機、自動車、各業界でのご採用装置を展示(一部は分解展示)。

### ● 説明員は全員技術者

### ● 2022年は約7700名のご来場者

市場・お客様へのソリューション提案と共に  
お客様の声を未来の製品コンセプトにつなげる

## Appendix.

## 分野別売上推移 概数（四半期ベース）

（金額：億円）

	2023年度				2024年度		2024年度上期 分野構成比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
一般産機	152	130	119	104	111	<b>115</b>	<b>24%</b>
スマホ・携帯端末	72	97	99	87	99	<b>133</b>	<b>25%</b>
コンシューマ ・モバイル端末	56	68	62	67	84	<b>96</b>	<b>20%</b>
自動車 ・モビリティ関連	93	102	115	119	124	<b>122</b>	<b>27%</b>
通信インフラ機器	11	12	10	12	13	<b>14</b>	<b>3%</b>
OA 機器	5	4	4	4	4	<b>5</b>	<b>1%</b>
<b>コネクタ計</b>	<b>389</b>	<b>413</b>	<b>408</b>	<b>392</b>	<b>434</b>	<b>485</b>	<b>100%</b>
その他	16	12	14	11	14	12	
<b>合計</b>	<b>405</b>	<b>425</b>	<b>423</b>	<b>403</b>	<b>449</b>	<b>497</b>	



**HRS** HIROSE  
ELECTRIC  
CO.,LTD.